



Wiener Johann Strauß Orchester New Year Concert 2010

“ワルツ王”ヨハン・シュトラウスが創設した由緒あるオーケストラ!
伝統に裏付けられた優雅で華麗な演奏はまさに本物だけがなせる極上の響き!

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2010

Program

ヨハン・シュトラウス2世:

- オペレッタ 「こうもり」序曲
- ポルカシュネル 「山賊のギャロップ」
- ワルツ 「ウィーン気質」
- ポルカ 「農夫のポルカ」
- 「無窮動」

- ワルツ 「皇帝円舞曲」
- オペレッタ 「ジプシー男爵」序曲
- ポルカシュネル 「浮気心」
- ワルツ 「ウィーンの森の物語」
- ポルカシュネル 「観光列車」
- ワルツ 「美しく青きドナウ」

ヨーゼフ&ヨハン・シュトラウス2世:

- ポルカ 「ピチカート・ポルカ」

ヨーゼフ・シュトラウス:

- ポルカマズルカ 「燃える恋」
- ポルカ 「鍛冶屋のポルカ」

ヨハン・シュトラウス1世:

- マーチ 「ラデツキー行進曲」

※曲目が変更になる場合もございます。予めご了承ください。



指揮・ヴァイオリン
ヨハネス・ウィルトナー

Conductor & Violin Johannes Wildner



2010年1月8日(金) 19:00開演 (18:15開場)

入場料 S席 5,000円 (一般料 S席 7,500円 A席 6,500円 B席 5,500円)

※S席のみ取扱いします。※来場者定数の入場はご遠慮ください。

アルカイックホール

〒660-0891 尼崎市昭和通2丁目7-16(阪神尼崎駅より北東へ徒歩約5分)

事業担当 / 06-8487-0910 <http://www.archaic.or.jp/>

申込方法

裏面の入場券申込書で各支部事務所または公益事業部までお申し込みください。(下記FAX番号でも受け付けます)

※電話での申し込みは、受け付けていません。 ※申し込み後の教数変更および払い戻しはできません。 ※入場券は、現職会員の方へは所属市にお届け、退職会員の方へはご自宅に送付します。
※入場料金は現職会員は前年から、その他の会員は登録口座から引き合います。なお、25日までの受け付け分を翌月に引合致します。

お問い合わせ (財)兵庫県学校厚生会 公益事業部 TEL.078-331-9968 FAX.078-331-8050

(主催) (財)兵庫県学校厚生会 (共) 尼崎市総合文化センター (協賛) オーストリア大使館、日英文化協会

優美、壮麗…魔法のように魅惑的な音楽とユーモア! 新年を祝う最高の音楽、あの感動をもう一度!!

2008年の日本ツアーでは、アルカイックホールを割れんばかりの拍手と笑顔、
熱気に包み込み、多くの聴衆が再演を熱望したコンサート。
新春の幕開けにふさわしい極上の音楽を、心ゆくまでお楽しみください。

1844年の創立当時とまったく同じ編成(43名)を継承する、本家本元、
伝統のオーケストラだけが成し得る、極上のシュトラウス音楽!

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 Wiener Johann Strauß Orchester

<ウィーンでの誕生、そして世界のスター楽団へ>

1825年「ワルツの父」ヨハン・シュトラウス1世により結成され、1844年「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世によって現在の編成(43名)のオーケストラとして新たに創設され、後に彼の弟エドゥアルト・シュトラウス1世が引き継ぐ。1890年と1900～1901年の二度に渡るアメリカツアーは、熱狂的な歓迎を受けて成功を収めた。

<偉大なる伝統の継承>

20世紀の半ば、楽団を率いたのはエドゥアルト1世の孫でヨハン・シュトラウス2世の又甥のエドゥアルト・シュトラウス2世であった。ウィーン交響楽団などで活躍していた彼は1965年メンバーを見直し、「ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団」と名称を改め、ウィーンの一流音楽家と共に新たなスタートを切った。翌年、エドゥアルト2世が率いた北米ツアーは大成功を収めた。エドゥアルトの死後、ウィーン・フィルの元コンサートマスターで指揮者のウィリー・ボスコフスキーが首席指揮者を引き継ぎ、世界各地へツアーを行った。また、シュトラウス一族のほぼ全ての作品をオーストリア放送と共にレコーディングするという偉業も成し遂げた。

<今日のウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団>

その後、W.ゴールドシュミット、K.ヴェス、A.エシュヴェ、M.ジークハルト、O.ルードゥナー、J.ヴィルトナーなどを招き、シュトラウス一族の偉大なる伝統を由緒正しきウィーン楽友協会ホールで伝え続けると共に、リンカーンセンター、ケネディセンター、ボストンシンフォニーホールを始めとする世界中の著名ホールでも演奏し、ウィーン音楽祭特別の顔出し、シュトラウス一族の音楽の真髄を伝え、世界中の聴衆から熱烈な支持を受けている。

ヨハネス・ヴィルトナー(指揮・ヴァイオリン) Johannes Wildner / Conductor & Violinist

1956年ウィーン生まれ、元ウィーン・フィルのヴァイオリニストで、ウィーンを代表する指揮者の一人。

国立コシツェフィル、プラハ国立歌劇場、ライプツィヒ歌劇場の首席指揮者、ノイエ・フィルハーモニーヴェストファーレンの総合音楽監督を歴任、バイエルン放送管、北ドイツ放送管、ドレスデン・フィル、ラインランド＝プファルツ州立フィル、ザルツブルゲン放送管、ウィーン響、ウィーン放送管、トクエンストラ管、リンツ・ブルクナー管、ザルツブルク・モーツァルト管、ロイヤル・フィル、ザンクトペテルブルク・フィル、ロシア国立響、アレーナ・ディ・ヴェローナ、東京フィル、デンマーク国立響、オーデンセ響、BBC管、アイルランド国立響、ザグレブ・フィル、ニュージーランド響、台湾国立響、中国フィル、インド響など、世界中の主要楽団へ客演している。

オペラ指揮者としても、ケルテンの夏音楽祭、ゲルゼンキルヘン歌劇場、アレーナ・ディ・ヴェローナ、新国立劇場、ザグレブ国立歌劇場、ブルノ国立歌劇場、ザルツブルク州立劇場、インド・デコジード劇場などへ出演し、いづれも大成功を収めている。09-10年シーズンも、ザルツブルク州立劇場、メキシコ、ウィーン響、ウィーン放送管、ザルツブルク・モーツァルト管、アーネム・フィル、王立デンマーク管、オース管、BBCコンサート・オーケストラ、ザグレブ・フィル、広州響、中国フィル、フィルハーモニア台湾などへの客演など予定。

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団へは08年より客演をスタートさせ、ウィーン楽友協会でも多くのコンサートを行っている。ヨハン・シュトラウスさながらの洒落なヴァイオリンの弾き振りとユーモア溢れるステージは、歴代指揮者の中でも抜群の組み合わせ、と高い評判を呼んでいる。



ウィーン流の気負いのない音楽の真髄を大切に、その偉大な響きには飽き厭いを
持ち合わせていた。そして、ウィーン・フィルでのような偉大なる
小粋な歌い出しに酔いしれるとともに、ウィーン情緒を存分に楽しませてくれた。
(音楽の友 2008.3月号)

ホールはその夜シュトラウスに染まった!
威風凛々したアンサンブル、一糸乱れぬオーケストラの演奏...
"ウィーン氣質"の演奏で見せた素晴らしいウィーンらしさ。
(The Washington Post)

シュトラウス音楽の軽やかなファンタジーの中に日常を忘れ、
夢のような時を過ごす...満員のホールの聴衆と心かにも対応していた...
シュトラウスの音楽ほど、人生の喜怒哀楽、機微を映し出す音楽は他にない!
喜びに溢れ、いくばくの真実も含む...そう、新年を祝うのに最高の音楽!!
(Worcester Telegram)

©ANTO Meyer
提供:トニー・ワグネル氏

交通のご案内



アクセス

- 三宮から22分 8分 梅田から20分 大塚から20分
- 阪神「尼崎」駅より
立体歩道で徒歩約5分
 - JR「尼崎」駅より
市バス(京橋側4番のりば) [23] 乗車 → 阪神尼崎行き「総合文化センター」下車
 - 阪急「京口」駅より
市バス(13) 乗車 → 「尼崎道」下車
阪急バス(55)・(57) 乗車 → 「尼崎文化センター前」下車

自動車
名神高速道路 700m C.JA1979
阪神高速道路 神戸線 大塚方面 四ツ宮出口 JA1979 神戸方面 尼崎西出口 JA1980
阪神高速道路 京橋線 大塚方面 中島出口 JA1971 神戸方面 尼崎東海浜出口 JA1970
●駐車場: 駐車料金/30分 200円(16:00)・当日制限/2.0h

2009年度芸術文化事業 ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2010

入場券申込書

2009年 月 日

兵庫県学校厚生会 公益事業部 行

*受付番号

1月8日(金) 19:00開演	@ 5,000 × () 枚	会員番号
		会員氏名
合計金額	円	所属所名(現職のみ)

*欄は記入しないでください。